

## 01 ヒストリックカー・ミーティング in 松本

▶2014.5.5-6▶松本・安曇野/長野

## 肩肘張らずに楽しめるラリーイベント

text &amp; photo: Tetsu Tokunaga (徳久隆)



9日目を担当したヒストリックカー・ミーティングは5月の連休に開催。



メイン会場となったあがたの森には大勢の人が集まった。ヒマヤラシキの並木道では色とりどりの356がキャラリーを遊ばせ、



新田ボルシェが並ぶついでに足を止めましょう。名車の脇でポーズを取り記念撮影するご家族連れが多かった。



1954年型ジャガーXK120がスタートゲートを駆け抜ける。英領のドライバーが多いのがこのイベントの特徴。



PC競技中の1コマ。これだけ長いコースで正確なタイムを刻むのは至難の業。しかし給油後に陣いたのは…。



しめやかな晩食会はサンバパーティへ移わった。ヒストリックカー・ミーティング in 松本ではこうして楽しむ。



2日目は北アルプスを走るルート。標高ビューホテルに聞いた通り、また桜が咲いていてエンタラントの目を惹きました。



2日目のラリーもいよいよゴール。前開きドアが心臓のフラット1100TVは、キャラリーに大人気だった。



総合優勝のトロフィーを授けられたのはトヨタ2000GTに参加のご夫婦。2位に大差をつけての栄冠だった。

1年の間には質実な料理を味わったり、人との出会いや絶景のドライブを楽しんだり、嬉しい思い出がいっぱいあるものだ。そうした1年分の楽しみを2日間に詰め込み、クラシックカー・ラリーを楽しんで帰って行く。というのがヒストリックカー・ミーティング・シリーズの目指すところだ。

9回目となったヒストリックカー・ミーティングは、舞台を長野の松本エリアに移動。あえてゴールデンウィーク中の開催を選んだにもかかわらず、事務局の予想を上回るエントリーがあったという。それもそのはず。このミーティングは他のクラシックカーイベントでは味わえないユニークな企画が多いことで有名なのだ。

連休中とあって集合場所のあがたの森公園では、家族連れや観光客が色とりどりの名車に見入ったり、カメラを構えたりしていた。クラシックカー・ラリー初心者の方のわたしは、指定された所に駐車するだけでも精一杯。左にもつけないように、右にもつけないようにとオチオチしている。事務局の方が丁寧に誘導してくれた。そして粹に無事おさまるとニッコクと笑顔で合図を送ってくれ、わたしの緊張は一気にほぐれたのだ。ただ、どうもその瞬間から時間軸までおかしくなってしまったらしい。

なにしろスタート前にして信州牛のステーキ丼、地馬肉のたたき、信州ブラチナサーモンといった他では味わえない料理が振る舞われる。ラリーがスタートしてもそれは焼き、スタンプ・ポイントを通過する度、PC競技をこなす度に、銘菓や特産品でもてなされるのだ。松本の市外に出ると、今度は唐沢そば集落というそばの産地に向かい、わんこそばまで堪能する。これでご理解いただけたらどうか。ヒストリックカー・ミーティングは、肩肘張らずにクラシックカー・ラリーを楽しむイベント。今回のテーマはなんと“信州食い倒れツアー”だ。この日いったい何食食べたのだろう。早くも1年分の御馳走を口にした気がする。

もちろんクルマのイベントなのだから走りのプログラムも抜かりはない。美鈴湖までのワインディングはレーシングサウンドを轟かすもの。空冷ユニットを目いっぱい回すのと各々の走り方で一気に駆け上がる。これにはコースサイドに陣取りガヤラリーも大喜び。

1日の行程を終えホテルに到着すると、エントラントは改装して晩食会場へ向かう。1937年建築という歴史ある建物を舞台に始まった晩食会は、バンドの演奏とシャンパングラスの合わせ音が響く優雅な雰囲気。涼しげなサッパングの調べに耳を傾けていると、煌びやかなサンバ・ダンサーが登場。それとともにバンドの演奏が次第にテンポを上げていき、会場は同ミーティング恒例のサンバ・ダンスに突入。56組の参加者が自然に手を取り合って会場内を練り歩く姿は、これがクルマのイベントなのかと目を疑うほど。

翌2日目は五月晴れの北アルプスを駆け巡るコース。この日も信州おみやぎや自家製ハチミツを頂きながら、様々なレベルのPC競技をこなしていく。ゴールの穂高ビューホテルでは、また散っていない桜がわれわれを出迎えてくれるサプライズもあった。

今こうして写真を見返していても、本当に2日間の出来事だったのか、1年分のイベント写真を集めて見返しているのかあやふやになるほど濃密な時間を過ごした。スナップショット片手に目くらまら立ってばかりがクラシックカー・ラリーではないという事務局の意図は明確で、女性エントラントからの支持が圧倒的に多いことも納得なのである。